

農作業安全について ～農作業事故発生0(ゼロ)を目指して～

鳥取県では毎年農作業事故の報告があり、特に今年度は死亡・重傷事故の発生が多く、7名の方の尊い命が失われています(R3.11月末日時点)。

農作業事故の発生は単なる機械の操作ミスに限らず、複数の要因が重なり発生することがほとんどです。その要因には「危険な場所での作業、機械施設の整備不良、不適切な作業方法」などが挙げられ、しっかりと安全対策や準備をおこなうことで、事故発生の未然防止と重傷化リスクの低減に繋がります。

まずは、作業現場の見回りと機械施設の点検を実施し、安全な農作業実施について再確認することから始めましょう。



【農作業事故等の発生傾向】

鳥取県で発生した農作業事故を機械別に見ると、トラクターなどの乗用型機械が約半数を占めており、発生要因は転倒などによるものです。

事故は年齢に関わらず発生していますが、特に高齢者の方は死亡事故率が高い傾向となっています。

また、農作業中の熱中症についても、毎年、多くの発生が報告されていますので、これからの農繁期に向けて注意が必要です。

【安全な作業服装】

例)防護具(機械作業時のヘルメット、草刈時のゴーグル)の着用など

【作業前の準備】

例)作業場所や機械の点検、緊急の連絡先や方法の確認・熱中症対策(水分補給、適宜休憩)など



鳥取県振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2028 FAX:0859-72-2090
農林業振興課農業振興室 電話:0859-72-2003 FAX:0859-72-2011

河川・道路愛護ボランティア募集中!!

～「地元の道路、河川、公園」の除草等をしてくださる皆さまの活動を支援します～



<ボランティア活動内容>

- 道路の清掃、除草又は植栽管理もしくは歩道除雪
- 河川の清掃、除草又は植栽管理
- 公園の整地、清掃、除草又は植栽管理



区分	参画型ボランティア 促進事業	協働型ボランティア 促進事業	スーパーボランティア 支援事業
支援内容	自主的な環境美化等(清掃・除草・除雪等)を行う団体に対し、活動の実施に必要な援助を行います。	県とのパートナーシップに基づいて協定を結び、一定区間の維持管理(除草・植栽管理・除雪等)を行う団体の活動を支援します。	公園、河川敷等を活用した地域づくりや賑わい創出の活動と併せて、適切な維持管理を継続して行う団体の活動を支援します。
活動規模	任意の規模	道路 0.5km以上 河川 0.2ha以上 植栽柵 50m以上	活用する公共空間の範囲
交付金等	参加者:100円/人・時間 草刈機等:100円/台・時間 (上限10万円/年)	河川・道路・公園等:40円/m ² 植栽柵:500円/m ² 歩道除雪:20円/m ² (上限40万円/年、ただし、歩道除雪は20万円/年)	河川・道路・公園等:40円/m ² 植栽柵:500円/m ² (上限60万円/年) 施設設置の原材料費等の額 (簡易施設設置交付金:1団体につき50万円まで)

※事前にボランティア団体の登録及び協定の締結(参画型ボランティアを除く)が必要です。詳しくは、下記までお問い合わせください。

鳥取県土整備局 維持管理課 電話:0859-72-2046 FAX:0859-72-2092

日野郡における令和3年産米の作柄 ～良食味への取組～

令和3年の鳥取県西部の水稻作況は、8月前半の多雨や8月中旬から9月の日照不足の影響を受け、やや不良でした。しかし、標高が高い日野郡管内では、昼夜の温度差が大きく玄米の充実が良好であることから、品質が高く、収量が多い事例も見られました。

「第19回日野川源流米コンテスト(令和3年10月、主催:日野郡産米改良協会、出品数155点)」では、食味値^{※1}の平均が87.9点で前年を約7ポイント上回り、整粒歩合^{※2}は90.3%で前年を13ポイント上回るなど非常に高水準でした。本コンテストで最優秀賞(県知事賞)を受賞したのは、日南町の(株)米風土鳥取(まいふうとととり)です。

同社は、静岡県で開催された「第23回米・食味分析鑑定コンクール国際大会(令和3年11月、主催:米・食味鑑定士協会、出品数:4,883点)」でも「国際総合部門」金賞を受賞し、鳥取県初の快挙となりました。

(株)米風土鳥取の藤原取締役は、「今後もコンテスト出品に取り組み、全国でも通用するようなおいしいお米を生産したい」と意気込んでいます。

更に、日野郡には、鳥取県で育成された「星空舞」の良食味生産を目指して、標高の高い地域での栽培に挑戦するなど、意欲的な取り組みを行う農業者も多く、今後も一層の日野郡産米のレベルアップが期待されます。

※1食味値:専用の測定器で計測し、お米のおいしさを示す値。標準的なお米は、65～75点。

※2整粒歩合:穀粒判別器で測定し、被害(着色や未熟)等のない整粒の割合。一般的には、70%以上で1等米とされている。



令和4年1月18日 知事への「第23回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」金賞受賞報告をする(株)米風土鳥取

温故知新の白ネギ栽培 ～チェーンポット定植の再評価～

日野郡の特産野菜の一つである白ネギは、一人当たりの栽培面積が10a程度と小さいため、古くから手作業で植えられているのが一般的でした。しかし近年は、高齢化が進んだこと、新規栽培者や規模拡大を目指す若手農業者が少しずつ増え始めたこと、また手作業では定植に時間がかかり、作業姿勢も辛いことなどから対策を求める声があがるようになりました。

そこで、普及所では約30年前からあった「チェーンポット定植技術」に着目しました。チェーンポットは一つ一つの苗ポットが紙で連結されたもので、専用の機械(ひっぱりくん)に苗をセットし人力で引っ張るだけで省力的に定植することができます。過去には郡内でも普及しようとした経緯もあったようですが、当時は機械の使用方法等が上手く農家に伝わっていなかったため、長らく忘れ去られた技術となっていました。

このため、平成30年からJAと協力してチェーンポット定植実演会や講習会を開催し、正しい情報発信に努め、技術の再実証と地域適応性を評価してきました。定植実演会では普及員がコツを丁寧に説明しながら、参加者が実際に植付を体験しました。参加者からは「手植え作業と比べると楽だ」、「植えるのが早いし女性でも簡単に作業ができる」、「これを知るともう後に戻れない」といった声があり、高いニーズがあることが改めて証明されました。

普及啓発を始めて今年度で4年目となりますが、同時にJAの苗供給体制の整備もすすみ、現在では部会員40名中15名が導入しています。今後も本技術の普及が進み、若手農家の規模拡大や高齢農家の作業負担軽減につながることを期待されます。



チェーンポット定植実演会の様子



手植えの様子(約20時間/10a)



チェーンポット定植の様子(2～3時間/10a)

苗が数珠状に連結している

鳥取県振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2028 FAX:0859-72-2090